

里山保全の地域貢献や従業員の雇用確保のため、事業譲渡

(株)市貝林業 × (株)和興建設

譲渡企業の概要

会社名：株式会社市貝林業
 代表者：長郷 義昭氏
 所在地：栃木県市貝町
 資本金：300万円
 業 種：林業
 従業員：10名

譲受企業の概要

会社名：株式会社和興建設
 代表者：横松 和美氏
 所在地：栃木県真岡市
 資本金：2,000万円
 業 種：建設業
 従業員：35名



左から長郷社長・横松社長

事業承継の概要

- 譲渡方法：株式譲渡
- 支援方法：M&Aの仲介

1 事業引継ぎに至るまでの経緯

(株)市貝林業の創業者長郷義昭氏は、ハウスメーカーの営業マンとして全国を飛び回り、退職後市貝町にログハウスを自力で建築、地元森林組合との縁ができ、丸太の処分を依頼されるようになり65歳で起業。平成15年8月に当社を設立し本格的に林業に取り組み始めました。

会社設立以降、販路拡大に尽力した結果、業績は順調に推移し、売上構成は薪売上50%、炭売上30%、チップ売上20%で、特にビザ専門店向けや薪ストロブの燃料として品質の良さが認められ、薪の売上は順調でした。最近では栃木県から認定事業体の指定を受け、県の委託事業として補助金を活用した里山保全のための森林伐採事業にも取り組んでおり、また、バイオマス工場と燃料供給に関する契約も締結し、木材資源の有効活用に寄与しています。

長郷社長は80歳になった平成30年12月、親族や従業員に会社

の経営を安心して任せられる後継者が不在と感じ、里山保全の地域貢献や従業員の雇用確保のためにも事業を継続させたいという思いが強くなりました。その時、新聞で当センターの記事を読み、事業の引継ぎを希望、相談にいたしました。

2 事業引継ぎ支援センターでの支援内容

当センターでは、数社の譲受候補先を紹介しましたが交渉は進みませんでした。長郷社長のなんとか早く相手先を捜したいとの強い希望もあり、当センターのマッチングコーディネーターである司法書士に情報提供したところ、和興建設の紹介を受けるにいたしました。和興建設は、栃木県南東部を基盤とする総合建設業。造成工事の受注が多く、伐採した樹木を活用し木材チップへの新規参入を検討していたところでした。横松社長は、木材を燃料として出荷するノウハウを持つ市貝林業と連携することでシ

ナジーを発揮できると判断し、社長同士の面談を実施。初回面談から互いに意気投合し、事業に対する思いを共有することとなったのです。

その後数回の面談を重ね交渉は順調に進み、株式譲渡価格、従業員の雇用の継続、引継ぎ後の長郷社長の待遇、代表者からの借入金返済等、双方が合意にいたり、一連の交渉が完了。市貝林業の全株式を和興建設に譲渡する株式譲渡契約が取り交わされ、市貝林業の事業は円滑に和興建設に引継がれました。

3 M&Aによる効果

近年、自然災害が大きな問題となる中で、山林の保全・再生を主業とする事業が継続されたことは意義深く、長郷社長は安心して事業を引継ぐことで、全従業員の雇用を守り、横松社長は、本業の周辺業務への参入で新たな成長分野を得ることができました。



栃木県事業承継・引継ぎ支援センター
 サブマネージャー
 入江 潤

栃木県事業承継・引継ぎ支援センターでは、事業承継をスムーズに進めるためさまざまな支援をご用意しています。今回は、当センターで支援させていただいた、M&Aを活用した事業承継の取り組みをご紹介します。